



寄居に眠る歴史を訪ねて

釜伏の関に残る歌碑

わたしの好きな寄居 No.269

釜 伏峠は、秩父方面を往来する人々によって古くから利用されてきた交通路で、かつては関所が設けられていました。明治ごろまでは、10畳程度の小屋が残っていたそうですが、現在は、説明版の下に緑泥石片岩で造られた小さな歌碑が残されているだけとなっています。

「志乃、免の空ましか祢て 旅人の はやくも こ遊る 釜伏の関 從二位子爵時萬」と刻まれたこの歌碑、作者が記されているにも関わらず、建立の経緯や由来はもちろん、この人物が誰かさえ知られていませんでした。しかし今回、名前や爵位などを手がかりに調べてみたところ、交野時萬という公家の名が浮かび上がりました。

さて、歌の作者と考えられる時萬は、天保2(1831)年に生まれ、安政5(1858)年には、日米修好通商条約の締結に反対する公家の抗議行動に加わっており、明治時代になってからは、氷川神社や日吉神社の大宮司に就任したようです。また、歌詠みに優れ、明治21(1888)年に設置された御歌所(皇族の歌会等を所管した宮内省の外局)の役職を務めたと記

録されます。明治17(1884)年には子爵を授爵しており、28(1895)年に従二位、41(1908)年には正二位を叙位されていますから、時萬が釜伏峠を訪れたのは明治28～41年の間と思われます。

今回、歌碑の由来などは明らかにできませんでしたが、旅人の情緒を感じさせるこの歌碑を眺め、当時に思いを馳せながら歩いた峠道には、いつもとまた違った趣が感じられました。



親子 De 笑顔

子育て支援施設を利用された皆さんを中心に紹介しています。



黒田 美智子さん・麻友ちゃん(6歳)・友希ちゃん(2歳10カ月)

☺子育てのポリシー

お友達と仲良く遊べる子に育ってほしいので、児童館や子育て支援センターへ積極的に出掛けています。遊びを通してあいさつや物の貸し借り、順番など多くのことを学んでいます。

☺お子さんが夢中になっていること

二人でダンボールや新聞紙を使って、家や車、ドレスなど立体的なものを作っています。パズルにも夢中でキャラクターのパズルがお気に入りです。80ピースにも挑戦しています。



加藤 康德さん・真末さん・朝陽くん(1歳5カ月)

☺子育てのポリシー

いろいろなことに興味を持って挑戦し、感性豊かに育ってほしいなと思っています。近所のお散歩も子どもにとっては大冒険! 日頃から、小さくてもいろいろな経験をいっぱいさせたいと思います。

☺お子さんが夢中になっていること

乗り物と運動が好きなようです。ガタンゴトンと体を揺らして電車ごっこをしたり、公園に行けば芝生の上を駆けずり回ったりしています。最近少しか、ボール遊びもするようになりました。